

2022 年度 (対象 : 2019~2021 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	教育学研究科
--------	--------

基準 1	理念・目的
------	-------

総評	
0101	大学の基本理念・使命・教育目的を踏まえ、教育研究上の目的や育成する人間像を明確に設定し、以下の対応関係としている。教育学専攻のDPに示す「学び続けることができ、教育・保育現場でリーダーシップをとることができる」は大学理念の「信頼され、あてになる人間」「自立心・公益心」に、「幅広い総合的な視野と学識を有し」は「豊かな教養」に、「グローバル化に対応できる的確な判断力」は「国際的な視野」に、「教育学・保育学、教育心理学、教科教育学領域に関する学識・技術を身に付け」は「専門能力・実行力」に対応させている[0101a][0101b][0101c]。なお、教育の目的は上記のように明瞭に設定されている一方で、研究の目的・目標等が明確には示されていない。
0102	教育研究上の目的や人間像に関しては、学生便覧やホームページで学生や社会に対して公表している[0101a][0101b][0101c]。2019年度の自己点検評価の後、学部・研究科ポスターの学部棟内の設置数を増やすことで、周知と普及の改善を進めた[0102a]。加えて、大学院担当教職員には、教授会配付資料に研究科の「学修教育目標」を記載することで周知させている[0102b]。
長所・特色	
0102	大学院担当教職員に教授会配付資料に研究科の「学修教育目標」を記載することで周知させている点は、理念の再認識の機会を与え、理念に基づいた議論ができるようになるなどの効果もあり、特色である [0102b]。
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
0101	教育研究上の目的の設定に関して、とくに教育に力点がおかれた記述となっているが、研究科としての研究の目的・目標に関わる事項が十分には説明されていないので、研究科の目的・特徴を生かした研究上の目的が明記されることが望まれる。【B】

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会（第2部会）

2022年度（対象：2019～2021年度）ピアレビュー報告書（案）

評価対象組織	教育学研究科
--------	--------

基準2	内部質保証
-----	-------

総評	
0203	点検・評価水準、教職員の質保証への意識を高めるために現代教育学部と教育学研究科で合同の自己点検評価WGを設置して点検が行われている[0203d] [0203e]。
0203	本研究科には定期的に文部科学省の調査が入るため、日常的に点検見直しが行われている[0203f] [0203g]。
長所・特色	
0203	自己点検・評価活動が、FD/SDの一環として現代教育学部と教育学研究科の合同で実施されている[0203d] [0203e]。
0203	文部科学省の定期的な調査に対応するため日常的に点検見直しが行われている[0203f] [0203g]。
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
特になし	

根拠資料No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目No.	記号		

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料 △：現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第2部会)

2022 年度 (対象 : 2019~2021 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	教育学研究科
--------	--------

基準 4	教育課程・学習成果 (2)
------	---------------

総評	
0404	学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うため、学生に「学事カレンダー」を配付し丁寧な説明がなされている。それをもとに指導教員と学生との間で詳細な学習計画を立て授業が実施されている [0404b]。
0405	成績評価、単位認定および学位授与を適切に行うため、シラバスおよび学生便覧に評価基準、修了要件が明示されている [0405a] [0405b]。さらに学位審査、修了認定の客観性および厳格性を確保するため「教育学研究科学位論文評価項目」を独自に策定している [0405e] [0405f]。
長所・特色	
0405	学位審査、修了認定の客観性および厳格性を確保するため「教育学研究科学位論文評価項目」を制定している [0405e] [0405f]。
留意点	
*各項目に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
特になし	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第 2 部会)

2022 年度 (対象 : 2019-2021 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	教育学研究科
--------	--------

基準 4	教育課程・学習成果 (3)
------	---------------

総評	
0406	学修成果に関しては、シラバスに記載されている指標に基づき評価しており、院生数の数が少ないことから多くの授業では対面を重視した質的な評価を行っている。また、修士論文作成に関する学修成果の把握のために、修士 1 年生、2 年生ともに年 2 回の中間発表を開催している [0406a]。
0407	教育課程の点検は、文部科学省からの指導や示唆をもとにしてシラバスの点検の際に合わせて対応しており、第三者評価 (文部科学省による実施視察等) に対応する継続的な教育の自己点検・評価の機会となっている。
0406 0407	学修成果を把握する方法の確立や研究科での教育課程の独自性の向上と、その内容・方法の適切性についての仕組みづくりを、課題としている。
長所・特色	
特になし	
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
0406	当該研究科は院生数が少ないことからシラバスでの指標に基づき個別の学修成果について把握し、質的な評価を行っているが、その結果をもとに改善向上に向けた具体的な取り組みが望まれる。【B】

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第2部会)

2022 年度 (対象 : 2019~2021 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	教育学研究科
--------	--------

基準 5	学生の受け入れ
------	---------

総評	
0501	入学生受け入れ方針、教育課程、修了認定・学位授与方針等については、毎月のWGで確認し、入試関連資料の記載内容については、毎年度、WGで確認している[0501a][0501b]。入学生に求める学力水準等については、入学希望者に対する個別面談等の機会において、大学院で研究したいテーマに対応しながら説明している。
0502	入試システムおよび入試に関しては、研究科内で入学試験に対応するチームを編成し、APに基づいた入試問題の作成、面接を実施し、公正・公平性についても留意している。
0503	受け入れ大学院生数について、学部学生からの志願者を増やすことに重点をおいているが、現実には受験者数・入学者数は定員未満となっており、大学院志願者を増やす具体策を検討する必要がある。
0504	学生募集に関しては、学部学生を対象にした説明会を実施し、大学院の入学生受け入れ方針を確認するなどを進め[0504a]、さらに、大学院生と学部学生の交流の場を設け、気軽に研究室を訪問できるような雰囲気づくりを進めている[0504b]。
長所・特色	
0501	入学生に求める学力水準等は、入学希望者に対する個別面談等の機会において、大学院で研究したいテーマに対応しながら説明している点は、学生の適性と将来性を見極める機会ともなり、大学院生が自らの興味・関心に即した研究テーマを設定するなど、具体的な効果が表れており、特色となっている。
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
特になし	

根拠資料No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0504	b	大学院 勧誘チラシ	○

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第2部会)

2022 年度 (対象 : 2019~2021 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	教育学研究科
--------	--------

基準 7	学生支援
------	------

総評	
<p>0702 研究科には多様な背景の学生が入学することから、指導教員が中心になって支援を行っており、大学院 WG にも情報共有されている [0702a]。大学院 WG の開催頻度や構成メンバーも示されている [0702c]。大学院 WG には、現代教育学部が独自に設置して有効に機能している現代教育学部学生支援委員会と同等の活動が期待される。</p> <p>外国籍の学生への支援の成果として、外部の団体から感謝状を授与されたほか、学長表彰も得た [0702b]。博士課程進学希望者に対する支援を行い、他大学大学院の博士課程に進学させることができた。</p> <p>なお、大学院生の数が少ないためか、研究科全体としての取り組みよりも個別のエピソードにやや偏った記載となっている。</p>	
長所・特色	
<p>0702 研究科には多様な背景の学生が入学することから、指導教員が中心になって支援を行っており、大学院 WG にも情報共有されている [0702a]。</p>	
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	<p>【A】・・・緊急の改善を要する事項</p> <p>【B】・・・検討を要する事項</p>
特になし	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0702	c	教育学研究科 追加資料 2 : 大学院 WG 開催の案内メール	○

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第2部会)

2022 年度 (対象 : 2019~2021 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	教育学研究科
--------	--------

基準 8	教育研究等環境
------	---------

総評	
0802	教育研究活動に必要な施設および設備が整備されている。必要な図書文献や備品は院生費で適宜購入されている。学生へのアンケートにより点検・評価が実施されている[0802a][0802b]。
0806	教育研究等環境の適切性については、大学院 WG や指導教員が定期的に自己点検・評価を行っている。さらに大学院生の要望を聞き取る定期的な面接活動を行うことにより、必要とする図書文献、設備の充実が図られている [0802a][0802b][0806a][0806b]。
長所・特色	
0806	大学院生の要望を聞き取る定期的な面接活動により、図書文献、設備の充実が図られている[0802a][0802b][0806a][0806b]。
留意点	
*各項目に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
特になし	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第2部会)

2022 年度 (対象 : 2019~2021 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	教育学研究科
--------	--------

基準 11	大学独自の評価項目
-------	-----------

総評	
1120	教育学研究科の活動を推進する研究科委員会については議事録を作成し、持続的に安定した活動ができる体制整備が確保されている。大学院生の研究分野に対応した研究環境の改善・学修支援の強化がより実現されるように、業務の内容を不断に見直されている[1120a]。
1120	大学院生のニーズに対応した迅速な意思決定ができる体制が整っている。
1120	会議資料の研究科の事情に応じたデジタル化についての改善の必要性がある。
長所・特色	
1120	教育・研究設備等に関する大学院生のニーズに対応した迅速な意思決定、また研究進度の遅れ等に対する迅速な指導ができる体制が整っている。
留意点	
*各項目に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
特になし	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管